

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p> <p>クレド： 横浜国立大学を受験生に選んで貰えるような大学とするために、自己研鑽・業務に励み、横浜国立大学の職員として、恥じないよう、日々、行動していきます。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>理由・背景： 受験生が、進学先を選択する際に、本学と一橋大学、東京工業大学と比した場合には、残念ながら、一橋大学や東京工業大学に負けている現実がある。 横浜国立大学を魅力的な大学として、是非、進学したいと思われるような、競合校に負けない大学としたい。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>全国にもSD活動を活発に行っている大学があることを知るとともに、自分の仕事に関する意識を見直すことが出来ました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>経験年数に関わりなく、高い意識を持って業務にあたられているので、感心しました。 法人化後の職員の意識の変化を感じました。 今後も頑張ってください。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実務の改善に繋げられるようなものを企画してはいかがでしょうか。 ・企画を募集してみてもはいかがでしょうか。 <p>(今回、初参加でしたので、よくわかっていないのですが・・・)</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：未来ある横浜国立大学を作るため、職員、学生及び教員とのコミュニケーションを積極的に取っています。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：横浜国大職員には、今、帰属意識を持って大学運営全体に関わるマインドが求められています。積極的に情報収集し共有して、課題解決意識を育てる意味でも、職員間や学生及び教員とも積極的にコミュニケーションを取る必要性を痛感しています。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>グループディスカッションでは、時間がとれなかったため、意見交換が十分に行われなかった。運営スタッフがあらかじめ、「YNU^{クレド}宣言」をイメージできるよう関係ウェブサイトを提供してくれたものを事前に学習すべきであった。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>パネリストの皆さんからの報告には、それぞれの立場からの体験に基づいた気持ちの入った内容で良かった。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>2 本立ての時間割は、慎重に企画して欲しい。パネラーの意見交換をもう少し聞きたかった。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：相手の気持ちに寄り添い、共に考え、行動する “相手の心に残る仕事を！”</p> <hr/> <p>理由・背景：相手とは、関わる学生・先生方・同僚・地域の方・取引先の方など仕事で関わる全ての人のことである。自分が学生だった頃、上記のような対応をしてくださった職員の方がおり、その行動が今も心に残っている為。私も誰かの心に残るような仕事をしたい。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	他大学の若手職員の方で SD 活動にも積極的な方々のお話を聞くことが出来、勉強になった。ディスカッションにおいては、決まった質問ではなくその場から生まれた話題からお話を進めていたため、本音も聞けてよかった。田島さんのお話の中では大学愛の深さに感激し、刺激を受けました。
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	企業の多くが「クレド」のような行動姿勢や行動憲章があり、それを自らの手元においたり、職場の目に付くところに掲示し業務を行っています。大学にもそういったものがあれば…とっていました。今回自ら考えた「クレド」を胸に、これからの業務に生かしていきたいと思います。この度は貴重な機会を頂き、ありがとうございました。
④今後の「学びのひろば」への要望	特に無し

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私は出来ないと思うことに対しても、何かしら手段を探し、出来るように全力を尽くします。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：第 3 回「学びのひろば」の 8 班の話し合いに参加したことがきっかけです。8 班のキャッチコピーは「NO」→「TRY」→「DO」でした。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>それぞれに考えや思いを持っていても、実際にクレドとして言葉に表すことは難しいことだと感じました。しかし、それを敢えて文章化することで目標や方向性がはっきりし、日々の業務にも生かすことができるのではないかと思います。班全員の意見を取り入れることは大変ですが、普段あまり関わりのない方々のお話を伺うことで、自分の視野をより広くすることができたと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>貴重なお話をどうもありがとうございました。皆様大変熱い思いをお持ちで、共感する部分や見習わなければならない部分が数多くありました。私も皆様のように、大学をより良くしていくために、自分に何ができるかをよく考え、行動していきたいと思いました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>この度は学びのひろばに参加させていただき、ありがとうございます。より多くの教員の方々にも参加していただけたらと思いました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド: 私は横浜国立大学が目指す姿を指標にし、常に課題を探し、それに取り組みます。</p> <hr/>	
<p>理由・背景: 日々変化する社会の中での大学の状況を認識しながら、日々の業務がそれによろびついでいくのかを意識するように努めたいと思います。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>ゲストの方々の大変意識の高いお話を伺い、勉強になりました。グループ討議では考えを掘り下げて「クレド」にまとめる過程で充実した意見交換が出来たと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
クレド：「できる」を前向きに考える	
理由：第 3 回でのキャッチコピーの中で、一番共感できたのが、8 班の「No」→「TRY」→「DO」でした。法人化後、同じ業務でも制度が変わったことにより、従来の流れややり方では対応が難しいものが確かに増えてきていると思います。何事も「できない」からではなく、「できる」を前提に考えることが大学の発展、自分の進歩につながるのではと思っています。	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	自分の中で「クレド」って何だろう・・・から始まりましたが、パネリストの方々、班のみなさんのお話を聞いていくうちに日々の業務をこなしていくことに追われて、仕事の中に大学をよりよく発展させるためには・・・を盛り込み考えることができなかつたと改めて実感しました。「クレド＝宣言＝やります！」なので、実行に移すことを踏まえ考えるのは、正直、かなりハードルが高かったです。気負わず、まずは、自分の中の「気づき」につながればと考えます。
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	鹿児島大学の林さん、奈良先端技術大学院学の森口さん、大教センターの安野先生、財務課の田島さん、それぞれのお立場からの意見、ディスカッションを伺いながら、それを自分の環境に置き換えて考えてみる、それを学生の視点に立って考えてみる、と普段ではなかなか思いつかない発想も浮かび、とても貴重な体験ができたと思います。ありがとうございました。
④今後の「学びのひろば」への要望	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>①あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド： 私は、YNU（学生を筆頭に）ために、できる限り支援します。</p>	
<p>理由：事務職員であり、教員のパートナーになれませんし、限りある能力（一般の方々より少ないですが）で支援するという事です。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>一人一人のクレドはもちろん大切なことと思いますが、大学として教員、職員、部署別などのクレドがあればいいかと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>特にありませんが、準備等も含め大変お疲れ様でした。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特にありません。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：「できる」を前提に日々の業務に取り組み、より活動的な大学作りに貢献する</p> <p>理由： 業務に取り組む際、できない理由を見つけて「やらない」を選択しがちになるため。大学はどのような方向性に進むにせよ変化が求められるため能動性が必要になるため。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>日々の行動指針について話し合うことは非常に良いことだと思います。一般の企業においても、企業活動を通じてどのように社会に貢献しているかを宣言していることが多くなっています。社会貢献への期待度が高い大学でも、職員が行動指針をもって働くことが今後の大学の在り方に少なからず影響を及ぼすのではと思います。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>入学したものの大学に対して失望してしまう学生は、その反面大学に期待するものがあつたのではと思います。事務方として学生に対し行えることは決して多くはありませんが、学生を落胆させるような結果を大学スタッフが招くことがないように努めたいと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>直ぐにというわけではありませんが、今後もこのような取り組みを続けていくのであれば学生の方にも参加してもらう必要があると思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：「私たちは学生の成長支援・人材育成を真に願い、教員との協働関係を大切に育みながら、日々の業務に誇りと気概と情熱をもってあたります」。</p>	
<p>理由：学生が大学生活を有意義なものにするためには、良い研究者や教育者との出会いをはじめ、大学が所有する様々な資源をどれだけ活用出来たか、更に職員のサポート・サービスをどれだけ享受できたかということによっても左右されます。職員は本学のあらゆる経営資源を熟知している大学の一構成員として、常に向上心をもって真摯な姿勢で学生に接し、信頼を得る事で、その存在価値を高める業務を日々行わなければなりません。その職務遂行の為に、「教員と職員の協働」が必要不可欠。教職員全体の「協働関係」が発展・進化すれば、そこに「新たな役割や価値」が生まれ、その結果、「学生の目線に立った、学生一人ひとりの個性・感性・創造性を大切に育む」学務系の「学生支援サービスの充実」に繋がると思いがそこにあるからです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>「クレド」を通じて、魅力ある大学を創る為に、本学の教職員一人ひとりが如何に行動すべきかを考える「良いきっかけ」になったと思いました。</p> <p>竹下局長をはじめ、第 2 班の落合主任、運営スタッフの皆様には厚くお礼を申し上げます。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>奈良先端科学技術大学院大学：森口智司 様 鹿児島大学：林未登里 様</p> <p>常に自らの問題意識に基づいて、気づきや様々な思いを大切にしながら、誇りをもって、日々の業務を担当されている事に深い感銘を受けました。</p> <p>また、遠方よりご足労を頂き、また貴重な講話を我々教職員に頂きまして、本当にどうも有り難うございました。</p>

④今後の「学びのひろば」への要望	年初に、平成24年度1年間の「学びのひろば:研修ロードマップ」を作成し、教職員・関係者に事前にご案内しては如何でしょうか。その年度の「学び」の研修目標や体系が確認できる事で、参加者の理解度が増すと思いますし、計画的な参加も可能になると思われます。ご検討を頂ければ幸いです。
------------------	--

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 情報を共有し、互いに発信する。</p> <hr/> <p>理由・背景：横浜国立大学の教職員がコミュニケーションをとりあい、部局・事務部、教員・職員の垣根を越えて、それぞれが業務についての疑問点・改善点、お勧め情報等を発信・共有し合い、大学教職員が一丸となって、企画・立案、実行、改善の流れを図る。</p>	
② 第 4 回「学びのひろば YNU ^{credo} 宣言」についての感想	<p>第 3 回のテーマ：キャッチコピーに引き続き、各個人・班において、宣言を作成するということができたと思います。</p> <p>それぞれの指針の内容を理解し、常に心に留めおき、日常の業務に活かしていく、行動力・実践力を養って行きたいと思いました。</p>
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>実行力・行動力の大切さが、ひしひしと伝わってくるお話で、大学教職員として何をすべきか、</p> <p>一人一人の意識改革が行動改革へつながり、漫然と業務を行うのではなく、なぜ・何のためにとっても大切だと実感させられました。</p> <p>貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。</p>
④ 今後の「学びのひろば」への要望	<p>部局・事務部の枠を超えた、業務内容別の業務改善提案の話し合い等の場を設けてはどうかと思いました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：相手の立場に立った行動をします。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：普段、電話の相手に理解されにくい説明をしたり、上司への報告も未熟ですが、今回学びのひろばで「相手の話をよく聞いてあげて理解してあげることが重要」と皆様からアドバイスをいただいたので、電話の相手、上司にとって、どうやって説明したら、相手は面倒くさくなく、理解しやすいのかを、考えて行動しようと考えました。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>クレドを考えることを通して、学生側にたった大学というものを考えるきっかけとなりました。普段の業務で学生と接する機会がないため、難しかったですが、同じ班の方々の意見や、他の班の発表を聞いて大変参考になりました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>貴重なお話をありがとうございました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私たちは、国際関係業務に必要な英会話能力を有するよう、積極的に学習します。</p> <hr/>	
<p>理由・背景： 国際共通語とも言うべき英語の会話能力を有しないと国際関係業務や留学生関係業務に支障があるため。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>学内の教職員が一堂に会し、様々な意見を出し合い、お互いを理解するなどし、クレドをまとめ、発表することで、様々なクレドへの思いを学ぶことができた。今後の自分の進むべき方向性を学んだ。懇親会では、参加者の方々と楽しいひと時を過ごせた。 ありがとうございました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>鹿児島大学、奈良先端科学技術大学院大学、本学のFD、SD関係活動の概要を学ぶことができ、大変、勉強になりました。今後ともに切磋琢磨し、より優れた大学職員になるべく、よろしく願います。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も、「学び」に積極的に参加をした、その結果成果が得られ、自信につながったと、終了後に達成感のあるものとする、やりがい湧いてきてよいと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 私は常にアンテナを広げて、情報を収集し又発信する事が出来る大学人を目指します。</p> <p>理由・背景：現在の業務は、固定資産税、土地問題及び物品管理関係の業務を行っています。この業務は政治・社会情勢と密接に関係するため、常に情報を収集し、自分の業務にどのように反映するか分析しなければなりません。また、他部局に影響がある場合はその情報を発信し又共有し、対応策を共に考えなければなりません。このような状況を踏まえて、私の credo を作成いたしました。</p>	
② 第 4 回「学びのひろば YNU credo 宣言」についての感想	<p>YNU credo を作成するにあたり、改めて自分の業務の見直しを行うことが出来ました。又、他大学の職員の方々のお話も聞くことができ、とても良い刺激になり、大学全体の中で自分の仕事とというものを考える機会を与えて頂きました。</p>
③ ネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>鹿児島大学の林さんのお話から「やるか、やらぬか→やる」という credo のお話があり、そこから話が広がりました。奈良先端化学技術大学院大学の森口さんからは現状維持＝衰退とのお話があり、大学職員として、少しずつでも前進する事の必要性を感じました。安野先生からは教員・研究者の立場からお話を頂き、学生の価値観の変化を知ることが出来ました。田島さんにはディスカッションがうまく進むよう尽力して頂きました。自分の credo の作成にあたり、大変参考になりました。ありがとうございました。</p>
④ 今後の「学びのひろば」への要望	<p>大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私はたとえ顔が見えなくても心のこもった対応をします。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：仕事の性質上、先生方と基本お会いすることはなく、やり取りを行います。このため、対応が事務的になりがちですが、先生方に安心して任せて頂けるように心のこもった対応を一人一人にしたいと思ったためです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>ご一緒になった皆様のクレドを拝聴し、愛校心を感じました。色々な角度から横国を支えていることを感じられるいい機会だったと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>パネリストの方々から刺激を受けることができました。私も見習い頑張ろうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>学生さんも交えた学びのひろばが開催されるといいと思いました。パネリストとして意見を言ってもらえるのも面白いかと思いました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：私は、学生のよき理解者・支援者となります。</p> <p>理由・背景： 大学の役割は多くありますが、学生の教育が第一だと考えます。 村上さんの留学先の大学職員の、学生に対する一教育者としての姿勢はぜひ見習うべきものだと思います。学務の窓口に限らず、学生と関わる機会は多くあります。教師のように、家族のように、教員とフォローし合い学生に接し、学生が安心して学べる環境をつくりたいです。</p>	
② 第 4 回「学びのひろば YNU <small>クレド</small> 宣言」についての感想	<p>鹿児島大・奈良先端大の職員さんの参加があり、他大学の SD の様子など興味深く拝聴しました。</p> <p>「やるか、やらぬか→やる」、一体どうしたらそのモチベーションを保てるのか、それで終わってはいけないのですが、ただただ感心しました。そもそも最近「やるか、やらぬか」の岐路に立たされた記憶もない私は最初からそのような状況を回避しているか、もしくはやるしかない状況ばかりが目にあるのかなと考えました。</p>
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>採用時期もさほど変わらない同年代の林さん・森口さんの熱のこもったプレゼンに、大いに刺激を受けました。パネルディスカッションは、時間さえ許せばもっと聞きたかったです。遠いところをお越しいただき、ありがとうございました。</p> <p>村上さん・田島さんの和やかな進行もおもしろかったです。</p>
④ 今後の「学びのひろば」への要望	<p>今後も教職員（ゆくゆくは学生さんも含めて）の交流の場となればいいと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 私は様々な学生の成長を支える YNU で、自分も共に成長できるように努力し続けます。</p> <p>理由・背景 : 知力 (学力) だけではなく、人間的・社会的にも自立した学生を育む YNU で共に自分も成長できるよう、日々向上心を持って仕事や直面する出来事に取り組みます。現状維持=衰退というお話を森口さんから伺い、改めて身が引き締まる思いがしました。現状に満足することなく、自己研鑽と新しいことを学び吸収する努力を続けます。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{credo} 宣言」についての感想	<p>漠然と自分が理想とする大学職員像みたいなものは持っていましたが、「 credo 」として改めて意識して考え、話合う機会が持てたことはとても良かったです。班のメンバーの考え方も様々なものがあり、聞いているだけでも面白かったですし、ある考え方に意見を述べ合い、話がどんどん膨らんでいく過程がとても面白かったです。5 班は活発な議論ができたので、あっという間に時間が過ぎてしまいました。とても楽しかったです。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>他大学での取り組みや、様々な考え方を伺うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。</p> <p>林さんと森口さんは自分とそう勤続年数が変わらないのに、大学職員という仕事に対する意識がとても高く、納得させられるお話が多くありました。安野先生のお話も含めて自分の考え方にとても良い影響を与えてくれたように思い、感謝しております。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>毎回学びのひろばは興味深い内容で、運営スタッフの方たちが様々な工夫を凝らして盛り上げてくださり関心しております。</p> <p>いつも楽しく参加させていただいております。不満は全くありません。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
クレド：YNU を開放する	
理由・背景： 付箋の段階では、「地元との連携を強める」という言葉でした。YNU は、地理的に孤立しているせいか、学生さんに地元愛のようなものがなく、大学や、大学周辺の環境に対してクールになりすぎているように感じていたので、もっと、周辺環境に対して、開かれた大学にはなれないかなと思い、提案しました。	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	5 班は、意見交換が活発で、とても勉強になりました。 テーマに関して言うと、「YNU」のクレド、という大きなくくりにしたことで、どの立場で（教員？職員？大学全体？）、誰に対して（学生？同僚？周辺住民？日本社会？）クレドを考えるのか、自由である半面、迷ってしまったように思います。
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	他大学の職員さんの話を聞くのは初めてだったので、とても新鮮でした。
④今後の「学びのひろば」への要望	今回も、「YNU にスタバを作る（人が集まる大学にする）」という、真面目なのか、ふざけているのか分からないクレド？があったのですが、こういう、実現するかは分からないけど、何か面白いよね！！ というような企画やアイデア、夢を、どんどん持ち寄って、話し合える場になればと思います。もしかしたらその中で、本当に良いアイデアって生まれるかもしれないので。

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド： 自分のポジションを自覚して組織に貢献します。</p>	
<p>理由・背景：教室系技術職員は教員と学生への支援が業務の基本。場合によっては支援にとどまらないことを求められるが、研究教育に関与する職場であっても身分は事務であり、教員、通常の事務職員との連携においてはポジションの自覚が重要と感じている。今回の講演で「枠をつくらない」との主張もあったが、組織を良好に機能させるには枠を自覚して周囲との係わりを作るのが良いと思う。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU宣言」 ^{クレド} についての感想	<p>開始まではうまく行くかどうか不安だったが、当日は講演、グループ作業ともに意義を感じることができた。グループ作業の進行は皆が戸惑ったが、お互いの協力により活発な議論やまとめ作業ができた。企業でのクレドを知らなかったので、勉強になった。クレドを作成するには上位に企業側の考えがあり、リッツカールトンのように従業員（教職員）への約束があると作りやすい。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>勉強会その他で横のつながりについてコメントされており、共感しました。今回のイベントも人脈作りとしても良い機会でしたので今後何か連携できると良いと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>同様の継続を。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：「YNUを自分が好きになる！！」</p> <p>-----</p> <p>理由・背景： 去年よりは今年、今年よりは来年、少しずつでもYNUに対して好きという気持ちが芽生えて行けば、より良い大学・職場となっていくと思ったためです。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>大学のクレドで、意見をまとめるのに苦労したように感じます。個人的には個々の大学への思いを、クレドとして表しました。（難しいので）</p> <p>全く知らなかった「クレド」という言葉を、覚えたことでは貴重な経験でした。</p> <p>また、パネルディスカッションは、新たな試みであり、学外の方の発言を聞くことができ、良かったです。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>学外の方を含めて、貴重な意見が聞くことができ、感謝しています。</p> <p>村上さん、田島さんの堂々とした意見を聞くことができ、参加して良かったと思いました。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>グループ内に教員の方がいると、議論が活性化するように感じ、先生方の負担は大きいと思いますが、引き続き参加頂くのが良いと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私は学生の生き生きした表情をひきだします。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：施設の快適さ、授業の充実、課外活動への支援状況など、それぞれ異なるような個々の業務も、全て学生へ反映されていることだと思うのでどのような業務であっても「学生サービス」を念頭に置いて取り組もうと思いました。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>ディスカッションでは「能動的に」「一歩踏み出す」など積極的な言葉が多く出ていたので、それを話し合いの中だけで終わらせることなく、少しずつでも行動にうつせるように取り組もうと思いました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>受け身でいるだけではなく、自ら行動を起こすこと、積極的に働きかけることが大切だと感じました。なかなかこのような形でお話を聞く機会がないので、今回とても勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私は自分自身を磨いていきます。</p>	
<p>理由・背景：</p> <p>教職員それぞれが様々な生活環境の下で様々な思いを抱えながら生活をしています。日々の生活の中では、楽しい事、悲しい事、心配な事もあり、元気ハツラツに動ける日もあれば、体調が思わしくない日もあります。そんな実生活の中で“強い信念”を 365 日同じ水準で維持し続けるのは非常に難しいことだと思います。</p> <p>“クレド”には人それぞれ色々な解釈の仕方があると思いますが、それぞれの教職員が上記の思いを抱きながらも、縁あって「横浜国大」と言う同じフィールドの上で共により良い大学作りに向けて働くことになった…という部分は全職員の共通事項であります。1 人の力では何もできないことであっても、たくさんの人が集まればそれは大きな力となって大学内、社会へと発信されていきます。</p> <p>私は一人一人の教職員が「より自分を磨く」ことが大切であると考えます。</p> <p>①自分たちが置かれているポジションで何をすべきか、何が足りないか、よりよい改善点はないのか等を改めて考え、上司や同僚に相談し“知識を深める（専門性を高める）”、②緑あふれる学内の環境に改めて目を向け“情操を養う”、③学内の様々な研修や交流の場、聴講の場に機会があれば参加し自己啓発を積極的に行い“社会性や道徳性を養う”。</p> <p>その他にも磨き方はたくさんあるでしょう。それぞれの努力で自分を上へ上へと進める努力をして欲しいと思います。</p> <p>自分自身をたくさん磨いていくことで、その人に合った具体的な“クレド”はきっと見つかると思います。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>大変難しいテーマであったと思います。</p> <p>その中で、同じ班についての方々の「横浜国大に対する思い」「仕事に対する考え方」などを質問でき、皆さんからそれぞれの思いを聞いた事は大変有意義な時間になりました。</p>

<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>(鹿児島大) 林さん、(奈良先端科大) 森口さん、いずれの方も大学職員としての自覚と「何かをしなければ！」という自身へ前向きな働きかけが壇上の場でしっかりと言葉で表現できたいたと思います。安野先生のスピリチュアリティのお話も大変勉強になりました。(財務課) 田島さん、(総務課) 村上さんを加えてのディスカッションもそれぞれの方の熱い思いが一言一言に込められていて、視聴している側の心に響きました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>外部の大学職員の方に参加していただいての学びのひろば。学びのひろばスタッフの方々の努力で、ここまで大きな輪に広がったのだと思います。ありがとうございます。</p> <p>今回の学びのひろばが私は今まで参加した中で一番楽しかったです。</p> <p>次回も他大学の職員の方々に声を掛けて頂き交流の輪を広げて欲しいと思います。他大学の先生方の公園を聴く機会はよくあることですが、他大学の職員の方々とお話をする機会は全くないので、より新鮮味を感じました。よりよい大学作りに向けて積極的に外部へ働きかけ、開かれた大学へと進んでいくことはとてもよいことだと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
クレド：ニーズを創出します	
理由・背景：現状は、需要が供給を作りがち（＝学生や教職員のトレンドに応じてサービスを供給）ですが、好奇心をかきたてられるようなサービスを新たに提案・供給することにより、需要を作り、またトレンドを作っていきます。	
② 第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	日々の業務の中で漠然と思いついている大学職員・YNU職員としての姿勢について、具体的に整理するよい機会になりました。 グループでは、クレドというキーワードをもとに比較的自由なディスカッションを行っていたのですが、大学をよりよくしていきたいという目的は同じものの、それに至る考え方や個人の性格は様々だとあらためて気づきました。教職員同士尊重しあいお互い成長していきながら、一緒に大学をより魅力あるものにしていきたいと思いました。
③ ネリストの皆さんへメッセージをお願いします	鹿児島大、奈良先端の若手の方々がとてもしっかりとされていて、刺激を受けました。特に「不平・不満を抱くだけではなくアクションを！」や、「現状維持＝衰退」という言葉が印象的でした。自分だけや周囲の身近なひとの力を借りてだけでは変えられないような大きな問題は諦めがちです。しかし、越えられない壁を感じて現状を維持し、不平・不満を抱くのではなく、なんとか打開策を見つけることをしなければならぬし、行動してみたら、意外に簡単に見つけられることも中にはあるのではないかという気がしてきました。安野先生と田島さんのお話もとても興味深かったです。ありがとうございました。
④ 今後の学びのひろばへの要望	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「 credo 」を教えてください。</p>	
<p> credo : 私は常に一步前へ出る職員でありたい。</p> <hr/>	
<p>理由・背景 : 受け身にならず、積極的に仕事に取り組む職員でありたいと思うから。</p>	
<p>② 第 4 回「学びのひろば YNU credo 宣言」についての感想</p>	<p>勤務時間内にもかかわらず、多くの職員が参加されており、横国職員の方の意識の高さを感じました。また、様々な部署で働く方の意見を聞くことができ、とても有意義だったと思います。</p> <p>ただ、パネリストの方の発表時間が短かったため、具体的な活動内容や、考えなどをお伺いできなかった事が残念でした。</p> <p>事前に色々と準備をされていたスタッフのみなさん、ありがとうございました。</p>
<p>③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>限られた時間の中でしたが、色々とお話をお伺いすることができ、とても刺激を受けました。普段から意識を高くもって、業務をされているのがわかり、自分ももっと頑張らなければ・・・と改めて感じました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
<p>④ 今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>大学職員同士のパネルディスカッションを拝聴したのは初めてで、とても刺激を受けました。次回、このような形式で行う際は、もっとパネルディスカッションの時間をとっていただければ幸いです。</p> <p>(遠方からパネラーの方に来ていただいているにもかかわらず、お話を聞ける時間が短くて残念に思いました。)</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：・私は一人一人を大切にします。 ・私はポジティブな受け身を目指します。</p>	
<p>理由・背景：一つ目は、いつも仕事を機械的に処理してしまいがちなので、規則の意味などを理解し、出来るだけ個別のケースに即して対応していきたいという意味です。二つ目については、現在の言われるがままのネガティブな受け身の姿勢から、頼まれることを事前に予想し、何でもスムーズに受け止められるようなポジティブな受け身を目指していきたいという意味です。</p>	
② 第 4 回「学びのひろば YNU クレド宣言」についての感想	<p>今回は、大学運営について真剣に考えていらっしゃる他大学の皆さんのお話を聞くことができ、大変刺激になりました。ただ、ゲストのみなさんのお話の時間がもっと長くても良いように感じました。（長すぎてもゲストの方の負担になるのかもしれませんが）</p>
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>生き生きと魅力にあふれたパネリスト皆さんの貴重なお話を伺うことができ、大変勉強になりました。どうもありがとうございました。何事に対しても、躊躇してしまうことが多く、事務屋の世界に安住しようとしてしまう私にとっては、パネルディスカッションで出た、「やるか、やらないかだったら、やる！」というお話や「事務の限界を決めつけない」というお話に、大変考えさせられるところがありました。私も、様々な立場の人からの期待に応えられるような大学にしていけるように、今後さらに努力していきたいと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>国立大学と私立大学の違いを知りたいので、私大の職員の方のお話も聞いてみたいです。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私は学生に対して優しく、そして平等に対応します。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：優しくというのは甘くということではなく、相手の立場を鑑み大きな視野に立ってその便益を図って対応するという趣旨です。しかし、個別の案件に没入し学生間の対応に斑ができてはいけないと考えます。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>クレドという言葉は初めて聞きましたが、そのような形で自らの業務に関する姿勢や理念を表明し、同僚である他の職員や教員と話し合うということは、これから働く上での強い刺激になったと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>自分が所属する大学などの枠を超え、大学という教育機関に所属する者同士としてこれからも交流を深め、切磋琢磨することができたなら素晴らしいことだと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特に最近では、毎回趣向が凝らされていて興味深く参加させていただいております。ただ、開催の時期が今回のように 1 月の場合、例えば私のような入試を担当する係ですと業務量が多くなる時期で、参加したくてもできないということもあるかと思っておりますので、そのあたりを考慮していただけたらありがたいです。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「 credo」を教えてください。</p>	
<p> credo: 大学の変化に柔軟に対応し、自分のやるべきことを考え行動します。</p> <hr/>	
<p>理由・背景: 大学に求められることや果たすべき役割は社会や時代の変化に応じて少しずつ変化していると思うので、その変化を捉えて自分のやるべきことを考えて行動できれば、微力ながら横浜国大の発展につながると思います。日常業務に追われているとこのことを忘れがちなので、この意識をしっかり持ちたいと思うので credo としました。</p>	
<p>② 第 4 回「学びのひろば YNU^{credo}宣言」についての感想</p>	<p>他大学の高い意識を持って仕事に取り組まれている方々のお話を伺えてとてもよい機会だったと思います。また、グループディスカッションではそれぞれの教職員が日頃から大事にしていること考えていることを共有することができ、自分の仕事に対する考えを見つめなおすきっかけになったと思います。</p>
<p>③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>貴重なお話をどうもありがとうございました。みなさんの話を伺っていて、日頃から高い意識を持って仕事をされていると強く感じました。とても良い刺激を受けたので、仕事に活かせていけたらと思います。</p>
<p>④ 今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>これからの横浜国大について学長から直接話を伺える機会があったらと思います。(第 1 回であったようですが、私は第 3 回からの参加だったので聞き逃してしまっています。)</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 大学の方針を理解し、それをいつも念頭に置いて行動します。 自らを客観的に見る努力を怠ることなく、日々能力を上げていきます。</p> <hr/> <p>理由・背景: 毎日をなんとなく過ごしていると、何のための仕事なのかを忘れてしまい、こなすことが目的になってしまいますが、その先にあるものを忘れないことで、自らの仕事に意味を見いだしつつ進めていけるという理由で上記の credo を作成しました。</p>	
② 第 4 回「学びのひろば YNU ^{credo} 宣言」についての感想	<p>私の所属していた班では、様々な面から credo が出され、まとまりのあるものになったのではないかと思います。</p> <p>他の班でも具体性の高い credo が出され、討論の充実が伺え、興味深く思えました。</p>
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>意志が感じられるお話をありがとうございました。</p> <p>普段どのようなことを考えながら仕事をなさっているのかがよくわかりました。</p> <p>特にモチベーションの高い方々のお話が聴けて有益でした。</p>
④ 今後の「学びのひろば」への要望	<p>他大学の方のお話が聞ける機会が今後もあれば幸いです。</p> <p>発表の時間が短いので、できるだけ全ての班に発表していただきたいです。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p> <p>クレド：①日々疑問を持ち必要性、効率化を常に考えて業務を行います。 ② 相手を理解し、相手の立場を理解し、円滑に業務を行います。 ③ 積極的にコミュニケーションをとり、仕事をしやすい環境をつくれます。 ④ 上司部下への報告を的確に行い、常に改善案をもって相談を行います。</p> <hr/> <p>理由・背景：昔から気にしながら取り組んでいる事の一部ですが、今の職場環境にかけてきているものでないかと思いがあからです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>個人的に大学としてのクレドなのか 1 個人が業務を行う上でのクレドを決めるのか曖昧なまま出席してしまったため、少しずれた発言をしてしまった気がします。</p> <p>全体的には自分たちでクレドを検討するという自体は言い体験であったかとは思いますが、ただ、いくらクレドを決めても実践が伴わないと意味がないので、毎回そのあたりがフォローされていないのかなと思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>他大学のお二人は若いのに SD に積極的に取り組んでいてすごいなと思いました。実際の業務でどのあたりまで意識して取り組んでいるのか、周りの反応はどうかなど今度お聞きしたいですね。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特にありません。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド： 仕事を進めるにあたっては、広く情報を集めて適切な判断ができるよう努めます。自分が得た情報は関係者とすぐに共有し、仕事が円滑に進むように心掛けます。</p>	
<p>理由・背景： 横浜国立大学のために良い仕事をしたい。 自分も仕事をする中で成長したい。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>考えやすいテーマ設定でした。自分の知らなかった「宣言（クレド）作成」という作業が楽しかったです。 色々な意見が出たので、班に着いてくれた運営スタッフの方はまとめるのが大変でしたね、お疲れさまでした。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>他大学でも若手職員の方が頑張っておられることを知り、感銘を受けました。自分も常に前向きな気持ちで仕事に取り組んでいきたいと思いました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：係内、他部局問わず連絡を密に取る。</p>	
<p>理由・背景：仕事の基本である『ホウ・レン・ソウ』を徹底することで、有益な情報を得る事が出来たり、ミスや漏れを事前に防ぐことが出来ると考えたからです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>グループの方や発表者のクレドをお聞きし、共感出来る意見や新たに気づかされる意見が数多くありました。ただ漠然と思っているだけでなく、『宣言』として文字や声にしてみると、より一層自らの行動に影響を与えることが出来ると思うので、各部局等でも発表の場があるとよいと思います。今後、自分自身も皆さんのお話にあったような考え方を取り入れて、日々の業務に取り組みたいです。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>貴重なお話をいただきまして誠に有り難うございました。パネリストの皆様はそれぞれ自分の目指している職員像が明確にあり、それに向けて意識的に考え、行動しているというが伝わってきました。また機会があれば是非いろいろなお話を伺えればと思います。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>本年度は今回が最後とのことですが、役職や所属を問わず意見を交えることが出来る場は非常に大切ですので、今後も継続して開催していただければと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
クレド：より良い仕事を行なうために、自分の仕事に自信を持つ。	
理由・背景：仕事の質を高めること、および教職員・学生を始めとして仕事でかかわる人たちから信頼を得るためには、自分の仕事に自信をもって取り組む事が重要であると思います。そして、仕事に対する自身は、日頃の努力や自己研鑽によって得られた知識・経験から生まれてくるものだと思います。 これらのことが今の自分に不足している部分だと思いますし、こうありたいと思い、私のクレドにしました。	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	班別討議で、これまでは大学や仕事について語り合うことが多かったと思いますが、今回は自分が思っていることや、やりたいことなど、どちらかという自分の内面的なことを語る場になったように思います。初めのうちは各参加者とも躊躇してなかなか自分の思っていることを正直に話せない雰囲気でしたが、終わりの方では各参加者とも普段思っている本音の話をするのができ、貴重な機会になりました。
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	仕事に対する意識が高く、向上心があり、何事も前向きな姿勢で臨んでいる様子に感銘を受けました。 自分も負けないようにがんばろうと思いました。 貴重なお話をどうもありがとうございました。
④今後の「学びのひろば」への要望	特に要望はございません。 運営スタッフの皆様 1 年間どうもありがとうございました。

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：目的意識（何のための業務かという認識）を持って業務に取り組みます。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：事務職員は教員、学生と立場の異なる方ともやり取りをする必要がある。 何のための業務かを明確にすることで無駄なやり取りを減らすこととなり、お互い分かりやすく気持ちの良い対応ができると思うから。</p>	
<p>② 第 4 回「学びのひろば YNU <small>クレド</small>宣言」についての感想</p>	<p>班の中で一人ずつクレドを発表していったが誰一人重複しなかったことは意外であった。それぞれ非常に説得力のあるものであり、考えさせられた。</p>
<p>③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>今年度最後の学びのひろばとして総括としての意義もあるような素晴らしいディスカッションだったと思います。パネリストの皆様を目指すべき職員像が明確であったことが印象に残りました。</p>
<p>④ 今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の学びのひろばの時間配分は的確であったように感じました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：知識を広げ、深めよう</p> <hr/> <p>理由・背景：知識不足のために、質問に答えることができなかつたり、自分に自信がもてなくなってしまうたりする。受身ではなく、積極的に知識を広げていく姿勢を持って、業務に取り組みたい。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>私は今までクレドを持たずに「なんとなく」働いてきたので、同じ班の方やパネリストの方の意見を聞いて、自分自身恥ずかしく思い、またとても感銘を受けました。思い返せば、自身の立場や力量を推量して「わからない」「できない」と感じると、そこで思考停止していたな、と思う場面が多々あります。自分の能力を見積もっているうちに出来ることがどんどん少なくなってきたようにも思います。もう少し背伸びして、周りを見たり何につながる業務なのかを意識して仕事に取り組むようにしたいと思いました。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>林さんの「やるか、やらぬか→やる」、森口さんの『「事務としてできること』という枠を作らない』『現状維持＝衰退』という言葉が印象に残りました。また安野先生からの「スピリチュアリティの高い教職員と仕事との関係性」についての情報提供、興味深く拝聴しました。仕事に対するポジティブな姿勢、喜び、忘れないようにしたいと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>運営委員の方、お疲れ様でした。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：Think different：固定観念にとらわれることなく、ものの見方を変えてみる</p> <hr/> <p>理由・背景：残念ながらマイ・クレドではないですが、故スティーブ ジョブズのもとでアップルが展開したプロモーションスローガンです。イノバティブ、かっこいい、大好きな言葉です。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>一緒にクレドを考える、このような機会が与えられ、感謝しております。安野先生のお話にもありましたが、日頃は多忙さに流されがちである一方、震災後、私を含め日本人、もしくは世界中たくさんの人々が、効率一辺倒から脱却した豊かな生き方について考えることが多くなったと思います。グループディスカッションも大変有意義な話し合いの場になりました。メール連絡が時には冷たく感じられたり、かえって意思疎通が上手く行かなかったりすることがあるという意見も出ました、そういう意味でも、普段お顔を見ることのない方とこのひろばで交流することができて良かったです。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>パネラーの皆様、個人的体験を交えたプレゼンテーション有り難うございました。それぞれの思いが詰まっていた大変勉強になりました。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>実のところ、本学の大学憲章が今回のテーマと勘違いして参加しました。4つの憲章が他大学の方からどのように捉えられているかも聞いてみたいと思いました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
Credo : 人の絆を大切にする	
理由・背景 : 最近は何でもメールで済ませ、足を運び顔を見て仕事をするのが少なくなっている。 人との繋がりが薄くメンタル的に不調になる者も増えていることから、挨拶に始まる、人との繋がりを大切にしたい。	
② 第 4 回「学びのひろば YNU credo 宣言」についての感想	今回、「学びのひろば」に参加するにあたり、他大学の宣言を目にする機会がありました。似たような言葉も多かったが、それなりに大学の独自性が出ていたように思います。 是非、本学も他大学を感心させられるような宣言ができればと思います。
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	語りかけてくる言葉に、若さと、力を感じました。 向上心をもって前向きに業務に取り組む姿勢に関心するとともに、まだまだ、若手職員に負けられないという気持ちになりました。
④ 今後の「学びのひろば」への要望	若手中心の斬新な取組を、継続してほしいと思います。

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド： すべては「人」にかかっている</p>	
<p>理由・背景：いくら立派な施設があっても、潤沢な予算があっても、結局それをどう生かすかは「人」にかかっています。</p> <p>大学職員の立場から言えば、</p> <p>学生や先生をハッピーにできると自分がハッピーになる→ハッピーな気持ちで仕事をしているといい仕事ができ、仲間になりたい人（同じ志を持つ人）が集まる→まわりをハッピーにするハッピーな集団になる→ハッピーな集団とともに活動したい人（職員、学生、教員）が集まる→大学としての魅力が増し、ますます人（職員、学生、教員）を惹きつける・・・というのが、理想のイメージです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>今回は時間内にとにかく形にすることにとらわれ、つぎはぎだらけで全体としてまとまらないまま終わったような印象がありました。新たにアイデアを出し合いそれをまとめる、となると、やはり時間が足りない、と思います。せっきくの機会なので、自由に意見を言い合いながら十分に練り上げ、グループ内でみな「言いたかったのはこういうことだよ」と言えるクレドをつくりたい、そのためには、2～3 回同じグループ分けで作業をするのも有効ではないかと思いました。あるいは、過去にある程度アイデアを出し合っているので、その中にキーワードを見つけ形にしていく、というのでもいいかもしれません。</p> <p>議論の仕方としては、まずは愚痴（現状への不満）をとにかく出し合い、「じゃあどうしたら改善する？」という逆方向からのアプローチも、活発な議論につなげるには有効ではないかと思います。いきなり目指すところを考え出すと、抽象的な言葉やどこかで聞いたフレーズが出てしまいがちになり、YNU らしいものはなかなかまとまらないように思いました。</p>

③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	時間を割いてご経験を披露して頂けたことをありがたく思いました。学内にとどまらず、他大学の職員の方々との交流もとても刺激になるのではないかと思いますし、もしかすると行政を動かして教育システムを変える力にもなるのではないかと・・・などと思いました。
④今後の「学びのひろば」への要望	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「 credo 」を教えてください。</p>	
<p> credo : 共同体意識を持つ</p> <hr/>	
<p>理由・背景 : 大学全体で、例えば家族のような意識を持つことで、身近な人にも、顔を合わせたことがない人にも意識が行きわたり、より活力のある雰囲気が生まれると考えるためです。</p>	
<p>② 第 4 回「学びのひろば YNU^{credo}宣言」についての感想</p>	<p> credo について考え、また、ほかの方と意見を交換する中で、日ごろこうしようと考えていたことの、方向付けができたように思います。また、大学の向かう方向と一致しているのか、について、考えることの大切さを認識しました。</p>
<p>③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>お疲れ様でした。 なんでもまず取り組む、というお話は、わかりやすく、さっそく取り入れようと思います。</p>
<p>④ 今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：人と向き合い人のために奉仕する。</p> <hr/> <p>理由・背景：大学の業務はサービス業である。学生を始め、受験生、地域社会、本学教職員など、大学を取り巻く多くの人と向き合い、その人が必要とすることを考え、必要とすることを提供できればと考えています。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>前回のキャッチコピーと同様に自分達の目的や方針、姿勢などについて振り返って考え直す良い機会になったと思います。</p> <p>普段から、自分は目的意識を持っていると思っていても、気が付くと事務的な処理のためだけに仕事をしていたことが多くありました。今回、大学教職員の本来の役割や行動指針について班の皆さんと話し合えたことは、同じ職場の職員として一体感が持てたと感じました。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>若手の方が自分が働く大学や業務のことについて積極的に考え、提言されていることがとても素晴らしいことと思いました。ただなんとなく仕事をしたり、とかく前例のまま毎年同じ仕事のやり方をしがちですが、変化を楽しみながら業務を改善する姿勢がすばらしく、また、常に前向きな姿勢で業務に取り組んでいらっしゃることを力強く感じました。やはりこのような方が多くいらっしゃる大学は今後も伸びていくのだと思いました。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>学生が大学に求めること、これまで大学が学生にしてきたこと、今後学生にできること、等について関係者の話を聞いたり議論したりして、学生満足度を高めるための取り組みを考えるような内容としてはどうか。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「 credo 」を教えてください。</p>	
<p> credo : 自分に出来ることをする。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：自分の持ち分の仕事をきちんとこなすこと、この個々の積み重ねが良い職場を作ると考えていますので。</p>	
<p>② 第 4 回「学びのひろば YNU^{credo}宣言」についての感想</p>	<p>せっかく遠くから来て頂いたパネリストに発言の機会を与えないというのは、パネルディスカッションとして致命的なミスだと思います。司会が話しやすい人にばかり話を振るのでは意味がありません。また、パネリストにもう少しベテランを混ぜるなどの配慮が必要ではないでしょうか。ああいった類のものは経験も物をいうと思います。</p>
<p>③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>お疲れ様でした。</p>
<p>④ 今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>現状では、他の人の話を聞く良い機会であるにとどまり、実効性は薄いと思います。専門的な分科会みたいな形を設けることが必要ではないでしょうか。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：窓口・電話では明るい対応を心がけています。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：窓口も電話も最初の 5 秒で人の心を掴まないといけないとおもっています。 支援課の窓口は横浜国大の窓口だと心得ていますのでこれが私のクレドです。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>心置きなく意見の交換が職員とできて、また、同じ思いを共有しているのだとわかり、大変感激しました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>若い方々の熱い思いを伝えていただきました。 ありがとうございました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も頑張ってください。 今回は、いろいろお骨折りいただきましてありがとうございました。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
credo :	

理由・背景 :	
② 第 4 回「学びのひろば YNU ^{credo} 宣言」についての感想	<p>皆様ご承知のとおり、国立大学法人法第三款第二十二條の業務の範囲規定に定められた各業務や、教育基本法の各関連条項のほか、大学に期待される業務、責務などを規定している法律がいくつかあるとともに、法人が作った目標があります。</p> <p>credo がこれらを達成する組織づくりや人材づくりなどに役立つとともに、そこで働く皆さんを勇気づけ、歩むべき未来の道を示唆するようなことに役立つほか、受験生、在學生、卒業生、産業界、納税者などといった方々が、credo を読んだときに、ご満足いただける大学像を描いていただけたら良いと思いました。</p>
③ パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	ご苦労様です。これからも元気にご活躍ください。
④ 今後の「学びのひろば」への要望	

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 業務が円滑に行える職場を作る</p> <hr/> <p>理由・背景：業務を円滑に行うには環境が大事だと思います。部局内・部局間のコミュニケーションをとることにより、仲間意識も芽生え、業務が円滑に進む。そして教職員・学生にとってよりよい大学へと成長すると思います。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU 宣言」についての感想	<p>ディスカッション・発表にて、共感できること・考えさせられることがあり面白いテーマだと思いました。 credo を掲げることにより、教職員の業務姿勢・意識改善ができると思います。</p> <p>今回の YNU 宣言を形にし、教職員の credo として掲げれば同じ目標に向かい教育・研究・運営面すべてにおいて強化された大学になるのではないのでしょうか。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>他大学の職員の方々のパネルディスカッションは興味深く、若手職員の職員の業務姿勢・意欲が伝わりました。</p> <p>私自身ももっとやれることがあると再認識するきっかけとなり、今以上に率先して横浜国大に貢献できるよう目標を持ち日々業務に徹したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>学びのひろばは「大学から発信する職員育成の場」または SD 研修のように「意識改善・勉強会」の場であるのでしょうか。「教職員との意見交換の場」としては、学内の職員との交流ができ勉強になりましたが、今後の方針が明確になればより有意義な場となると感じました。</p> <p>最後になりましたが、一年間学びのひろばの運営お疲れ様でした。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：・常に業務改善を心がけます。</p> <p>・学生の成長につながるように、また学生が本学に愛着を持ってくれるように、学生に接します。</p>	
<p>理由・背景：</p> <p>・日頃から、異動してきたときよりも、業務を改善して、より良い状態で後任の職員に引き継ぐことを心がけている。</p> <p>・大学は学生に教育を行う場であるとともに、学生はお客様であるから。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>パネリストの皆さんの話は、もう少し時間をとって聴きたいと思ったし、グループディスカッションは、メンバーから各自のいろいろなクレドが出たが意見が多様で、限られた時間でまとめるのが難しかった。今回は 1 回で行うには、内容が多かったと思う。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>今回の直接のテーマありませんが、安野先生の『「いのちの尊さや神秘を感じる」「生命の相互依存性を感じる」教職員の方が、仕事と人生によりポジティブな見方を示しており、仕事に喜びを感じ、自分の人生に満足している』というお話が新鮮でした。そうだとすれば、いのちの尊さや生命の相互依存性を感じられるような教育を、小学校から大学で行えば、仕事や人生にポジティブに向き合うことができる人間を育てられるってことですね。</p> <p>本学の教員の講演・講義を聴くことがほとんどないのですが、機会を見つけてまた聴いてみたいと思います。ありがとうございました。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>最近の学びのひろばは、教員の方と（具体的な仕事に直結しないで）話ができる貴重な機会だと思います。</p> <p>今後も教員を巻き込んだ形で実施していただけることを期待します。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「 credo 」を教えてください。	
<p> credo : 自分に言い訳をしない</p> <hr/> <p>理由・背景：今日は寒い、体調がいまいち、昨日寝るの遅かった・・・。 いろいろなことを言い訳にして、目の前のことを明日回しにしているので、 ちょっと宣言を試みようかと・・・。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU credo 宣言」についての感想	<p>個人的には、「東大に勝つ！」と言いたい。 大学の目標・計画は方向性は示されていると思うけど、目標点があきまりしない感じがして、モチベーションが上がらない、または一体感が持てない気がする。 皆さんの宣言は、思わずそこまで言って大丈夫？と思うほど前向きなものだったと思います。一つ一つ各人が取り組むことが大きな力となると思います。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>難しいお役目だったと思います。お疲れ様でした。 ディスカッションの中でも皆さんが発言されていましたが、SD が目的にならないよう気をつけて、これからもがんばってください。 各大学は同業者でありライバルでもあります。 広い視野を持ちつつも、各大学のスペシャリストであってほしいと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>今年度は、学びや学務部研修において、他大学の職員に参加してもらったものが多かったと思います。他大学からの刺激を受けて、今一度「横浜国大」のことをみんなで考えてもいいかなと思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：$+α$（プラスアルファ）をもつ。学ぶ。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：どう行動すべきかというテーマを考えると、積極的に業務に取り組むと同時に、周囲とのコミュニケーションをもちながら、よりよくしていくためには、常に自身が学ぼうという姿勢と、自身の魅力を着ける姿勢が必要だと感じた為。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>自発的にYNU^{クレド}宣言を模索し、他の部局の方と意見交換する機会 は、あらためて横浜国大の特色、自身の目指すものを考えさせられました。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>他大学の情報を得る機会となり、大変刺激を受けました。 今後も他大学の方の行動・意見を聞きたいです。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>毎回、興味深い内容で他の部局の方と意見交換する機会となるので 勉強になります。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド： みんながやることはやる みんながやらないことをやる</p> <hr/>	
<p>理由・背景：みんなができることは、自分も確実に実行する。 みんながあまりやらない・やりたがらないことを積極的に実行する。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>大勢の方々があつまり意見を言える場であったのですごくよい機会であったと思います。教員側の参加をもっとふやせる策があれば</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>みんなが感じている想いを最も実行されていると感じました。社会人や地域の人々をとりこむことができる大学作りも大切であると思いました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>大学独自のとりくみを行い、他の大学への発信も期待します。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：私は、相手にも心があると意識してコミュニケーションします。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：現代は「心」（気持ち）の世紀だと思います。心は弾みますし折れます。 相手も自分も心弾むようなやり取りがコミュニケーションでは大事ですし、あらゆること の活力になると考えます。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>3 回目に初めて参加させて頂きましたが、今回も有意義でした。「クレド」について学びましたし、楽しかったです。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>年頭にもかかわらず、遠方からお越し頂いてありがとうございます。他大学の状況がわかるとともに、このような活動を推進されている（問題意識の高い）方々の声を生で拝聴できて有意義でした。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特にありませんが、できれば次回も参加したいです。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

<p>① あなたの「クレド」を教えてください。</p>	
<p>クレド：仲間のために一仕事足すことで大学全体の仕事を減らすことを目指す。</p> <hr/>	
<p>理由・背景：部課をまたぐ職員間、教員・職員間の業務に、相手が処理しやすい状態でやりとりして、業務効率化を目指す。メール、電話しそうな部課は部局を超え、年に一度は顔を合わす機会、意見を出し合う機会を設ける。</p> <p>教職員の精神的・身体的健康を向上させることにもなると期待します。</p>	
<p>②第 4 回「学びのひろば YNU^{クレド}宣言」についての感想</p>	<p>各班での議論、発表された班のクレドは、職場意識向上、業務の円滑化・効率化に資すると感じました。</p> <p>業務に追われる日常で、2 時間程度とはいえ、時間を割くことは容易ではないかもしれませんが、とても有意義な時間になっていると思います。</p>
<p>③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします</p>	<p>ご足労いただいたお二人、ゲストのお二人(?)に感謝申し上げます。他大学の職員と接点を持ち、相互に参考にしたり、刺激を与え合うのは有意義です。</p> <p>学内のパネリストの方々も思いを伝えてくださり、よかったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>④今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>是非継続していただきたいです。</p> <p>職場環境の向上、教職員の精神的・身体的健康の充実、業務効率化、教職協働などに屈託のない意見を交換することは意義があると思います。</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：1日の就業時間の20%を横浜国立大学のためになることに自由に使う</p> <hr/> <p>理由・背景：教職員が「横浜国立大学を良くする」ということを真剣に実行していくならば、精神論的な「クレド」または「モットー」を唱えているだけではあまり意味がないとおもいます。本当に、大学を良くするならば、それを実行するための時間や資源などを現実的に投入する必要があるのではないのでしょうか？この20%ルールはGoogleの「勤務時間の20%を自分の気に入ったプロジェクトに割くよう義務付ける」というもののパクリですが、大学を本当に変えていくためには、このようなルールを大学として制度化してもよいと思います。最近、教職員ともども、ルーティーンワーク（雑務）におわれ、大学を良くすることを考える時間的・精神的余裕がないと思うのですが、どうでしょう？</p>	
②第4回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>今回で3回目の参加になりますが、いつも楽しく職員さんとお話をさせていただいております。毎度楽しい会合ですが、そろそろ、しゃべるネタもなくなってきたので、学びの広場から今回かぎりで見送させていただきたくおもっております。また、今回の懇親会、運営者の方はいろいろセッティング等で御苦勞がおありだとはおもいますが、なかなかこのような機会はないので、とてもよかったのではないのでしょうか？大変お疲れ様でございました。</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>誠にお疲れ様でした。いろいろ勉強になりました。欲をいえば、もうちょっと本音をお聞かせいただければ、さらに勉強になったと思います。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>特にございません・</p>

平成 23 年度第 4 回「学びのひろば」アンケート

① あなたの「クレド」を教えてください。	
<p>クレド：職員、学生と笑顔でコミュニケーションし、笑いのある明るいキャンパスになるように努力します。</p>	
<p>理由・背景：私は教員ですが、①教員と職員の関係および②教員と学生の関係は、いろいろと対立する局面があります。①職員との関係では、研究費の使途について会計関係者と緊張関係がありますし、②学生との関係では単位認定や成績評価をめぐって緊張関係があります。しかし基本的には笑顔のある明るい職場と教室であるべきです。そうなれば、職員の仕事の効率も上がるし、学生の勉学の効率も上がります。ギスギスした関係では、何事もうまくいきません。まずは、明るい挨拶、丁寧なEメール、受けるギャグの開発など、「形」から改善しています。</p>	
②第 4 回「学びのひろば YNU ^{クレド} 宣言」についての感想	<p>なにか、YNU 宣伝のようなのを採択しましたか？終盤、ぼーっとしていたのかもしれませんが、記憶にありません（汗）。いくつかの班のクレドの例を口頭で紹介していましたが、あのことでしょうか？</p>
③パネリストの皆さんへメッセージをお願いします	<p>どの方もすばらしい報告だったと思います。遠方からこられた方には、とくに感謝いたします。</p>
④今後の「学びのひろば」への要望	<p>継続されるといいと思います。私はとくに要望はないのですが、近くの若手事務スタッフにきくと、「今回はちょっと次期が悪い。入試前の多忙な時期なので、参加したくても出来ない」という声がありました。末端の若手スタッフの参加をどう増やすかが、課題かもしれないと思いました。</p>